

国立市議会議長 大和 祥郎 様

J R東日本株式会社による国立駅南口開発に関する陳情

陳情の趣旨

国立駅南口に再構築される旧駅舎の周辺に、J R東日本旅客鉄道株式会社八王子支社より提示された国立駅南側計画概要については、国立市の歴史・文化を背景とした景観の維持が損なわれ、まちのアイデンティティの崩壊につながりかねない計画となって居るので見直しを要請する。

文教都市くにたちは、大正十五年に大学町として建設されて以来、国立駅から大学通りの緑地帯を経て、一橋大学に至る環境が国立市の個性を象徴しており、これまで市民の努力により景観維持が続けられてきている。

現計画は、広場空間や緑の確保がなされておらず、まちの落ち着いた雰囲気とは全く異なる別世界を出現させるものであり、商業の一極集中による弊害も予想されるところである。

3回にわたる市民シンポジウムでの市民の思いをここに集約する。

陳情事項

国立市としてJ R東日本旅客鉄道株式会社八王子支社の国立駅南側計画概要に対して働きかけ・調整等を行い、以下の項目を実現するよう要望する。

1. 東側用地は緑地として開放していただきたい。

2. 西側用地に建築する事業用建物は、現在廃屋(元喫茶シュベール)となっている場所の範囲にとどめ、再構築される旧国立駅舎との間に十分な空間を取っていただきたい。

3. そのため土地活用も含め、予定されている駅西側の国立駅南口複合公共施設整備用地との連携を図っていただきたい。